

第1回 ライトノベル作法研究所主催 大夏祭り大会 選評評価シート

作品名：「女の子はぱんつ穿かない、それが宇宙の大常識！」

テーマ：「気高き皇女様なのに、ぱんつ穿いてない美少女」

キャラクター

60

ストーリー

50

テーマ(設定)

55

文章力

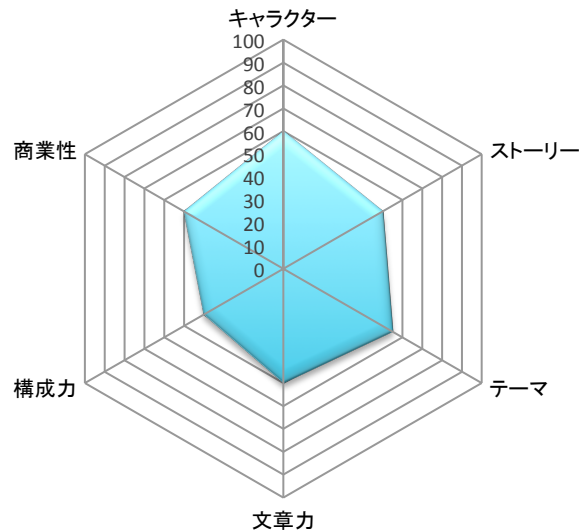
50

構成力

40

商業性

50



・見受けられる基礎的な問題点

- ・キャラクターに個性がない(もしくはその個性を生かしきれていない)
- ・キャラクターの設定にオリジナリティがなく、読んでいて新鮮さに欠ける
- ・キャラクターの行動に動機がなく、物語がご都合展開になってしまっている
- ・物語の方向性が定まっておらず、読む側にだるさを感じさせてしまっている
- ・物語に登場人物達にとっての障害が登場せず、盛り上がり欠ける
- ・テーマ(世界観)が既存の作品の焼き回しで差別化されていない
- ・物語上必要のない設定を多く登場させ過ぎている
- ・意味の無い暗いテーマ(人の死、暴力等)が扱われており、後味が悪い
- ・プロットの練り方が甘い(基本的な起承転結が意識されていない)
- ・時系列の流れが不自然、もしくは視点移動が多過ぎて構成が理解しにくい
- ・物語の情景描写が足りず、読んでいて状況を想像できない
- ・文章が難解かもしくは文法的に問題があり、よく読まないと内容が理解できない
- ・伏線的な要素がなさ過ぎて驚きに欠ける
- ・下ネタが少ない
- ・「この作品の最大の魅力はこれ!」というものが無い

・総評 (もしくは、今後これをやったら更に面白い作品を書けるようになるかもという話)

・題名のインパクトとキャラの「どうしてこの星の女の子は、ぱんつなんて穿いているのですか」という考えは意味不明な発言に良い意味で全てをもっていかれた作品であった。
 ・ただそれにしては少し安全策に逃げた印象がありもったいないと感じた。この点に関しては、もっと読者層がどこにあるかを意識すべきであったと感じる。この題名とコンセプトの時点で最初から女性読者は切り捨てられているので、もっと下ネタなり卑猥な描写なり(もちろん企画の規範にギリギリ収まるレベルの)を詰め込んで、安全策に逃げるよりは事故してもよいから全速力感が欲しかった。例えばジュンイチローに関して、スカートをめくった人では当作品のテイストの中では普通すぎて面白くないため、いっそ「スカートをめくり続けるうちにめくる必要がなくなってきた、急いでで疾風が起こりスカートを吹き飛ばせるようになった」くらいのインパクトがあっても良かったように思う。
 ・まだ全ての企画作品を読んだわけではないため分らないが、次回予告という斬新なネタで笑いを取りにきたのはこの作品だけであった。くだらな過ぎて笑った。
 ・全員ぶっ飛び過ぎて読み手が読んで疲れて来るというデメリットを若干内包しているように感じた。誰か一人「通常の倫理観をもった女の子キャラで、パンツは絶対に見せまいとブルマーをはき周りのおかしい人たちに突っ込みをいれていく」的なキャラを用意し、読み手の思いを代弁させるとこれが軽減されると思われる。

合計加点ポイント 0

総得点: 305 / 600

B方式総合得点: 15504 点